

平成30年度 決算情報

Mini Disclosure

2019

JA 八千代市の経営内容



JA八千代市は地域と農家をつなぐ架け橋でありたい

JAは組合員をはじめとした、地域住民皆様の暮らしを支えるため、様々な事業を総合して展開しております。利用者の皆様に、より信頼をいただけるJA総合事業を目指して参ります。

2018 トピックス

■ <夏の感謝祭・秋の収穫祭開催>

JA八千代市では、昨年度も農産物直売所グリーンハウス主催で「夏の感謝祭」と「秋の収穫祭」を開催しました。どちらも旬の新鮮農産物に多くの方が興味を示し、同JA青年部、女性部、フレッシュミズ、生産部会などによる模擬店も大いに賑わいを見せました。夏の感謝祭ではグリーンハウス15周年と、八千代市園芸協会の40周年を記念した特別イベントを開催。イタリアンシェフによる公開料理教室を行って八千代市産農産物のおいしさをPRしました。秋の収穫祭ではサツマイモの収穫体験を行い大好評。子どもから大人まで参加し、地元農産物や農業への関心を高めてもらうことが出来ました。

夏の感謝祭



公開料理教室の特別レシピは大好評♪先着200人に無料配布されたバーニャカウダベールソースと冷製コーンスープ（画像右⇒）



秋の収穫祭



サツマイモの収穫体験には、子どもから大人までたくさんの方が参加！会場は笑顔で溢れました♪

▲夏、秋と多くの来場者が訪れ、活気溢れる祭となりました。

■ <地場農産物共進会で意欲向上、販売促進 PR で消費者との交流を>

八千代市内の生産者で組織する園芸協会は、消費者に向けた地場農産物の販売促進や組織の中でより優れた品を決めるために共進会（コンテスト）を開催し、丹精込めて育てた農産物を出品しています。生産者自ら販売促進を行うことによって消費者との直接的な交流の機会となり、相互的な理解や関心が高まります。また、共進会は生産者同士が切磋琢磨することで意欲の向上を目指しています。昨年行われた第38回農産物共進会（八千代どーんと祭内で開催）では、共進会を終えてから選りすぐりの農産物を一般公開。出品・公開だけに留まらず、農産物を詰め合わせた野菜袋を販売。会場には、八千代市産の新鮮農産物を求め、たくさんの消費者が訪れました。

共進会



新鮮農産物の販売



▲共進会で技術の向上を。生産者自慢の農産物が並び、意欲を高めます。

消費者との交流を図り、各会場は大いに賑わいを見せ、八千代市産農産物のPRをしました。

JA自己改革

■ JA自己改革とは？

JAグループは平成30年に開催された第37回JA千葉県大会において、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合の確立～自己改革を結実させ、組合員とともに未来を創る」を共通テーマに掲げ、自己改革に取り組むことを決議しました。

取り組み項目の4つの柱

- ①「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」へのさらなる挑戦
- ②「地域の活性化」へのさらなる貢献
- ③「組合員のアクティブ・メンバーシップ」の確立
- ④「自己改革の実践を支えるJAの経営基盤」のさらなる強化



JA八千代市においても、上記内容に取り組むべく2019年度～2021年度の「中期3か年経営計画」や昨年策定した「第3次農業振興計画」にもとづき、組合員や地域住民に必要なJAを日々目指し、さまざまな活動を展開しております。



JA八千代市は地域と農家をつなぐ架け橋でありたい

JAは農業関連事業（営農指導・販売・生産購買等）だけでなく、信用・共済など暮らしに関わる多くの事業から成り立つ「総合事業」を営んでいます。総合事業は農業関連事業による農業経営の所得確保と、農業経営から得られた収入の家計での活用（生活購買、貯蓄、共済加入）を一体的に支援する仕組みであり、**組合員にとって多彩なサービスをワンストップ（※）で便利に受けられるメリット**があります。（※1か所で用事が足りること。1か所で何でも揃うこと。）

また、JAの事業は生産者だけでなく一般の地域住民に対しても生活に必要な地域経済機関として非常に重要な役割を果たしています。准組合員の事業利用により事業規模が拡大し、結果として収支状況が厳しい農業関連事業の展開や地域に必要なサービスの提供が可能となっています。つまり、**正組合員と准組合員がJAの事業を利用することを通じて地域の農業と暮らしを支えあっている**と言えます。

けれど、今後政府が行う准組合員の事業利用規制のあり方などの検討によっては、これらの総合事業が今まで通り行えなくなってしまう可能性があるのです。

■もし、政府によるJA事業利用規制が行われると、どうなるの？

生産者にとっても、消費者にとっても利便性が失われる可能性があります。

例えば・・・

⇒JAから金融事業が無くなると、生産者が直売所等で得た収益がすぐに通帳を通して入金処理されず、経営がスムーズに行えなくなります。

⇒准組合員が利用してきた事業（貯金・共済・融資など）が今後利用できなくなるおそれがあります。

⇒JAが地域の利便性向上の為に提供してきた様々な事が行えなくなってしまう。

これによる地域の衰退、地域農業の維持が困難になるおそれがあります。



J A八千代市の自己改革

■ J A八千代市の活動

J A八千代市ではさまざまな活動を行っております。その一例をご紹介します！

【八千代市産のお米】

J A八千代市では同市産のお米を検査し安全を確認しています。そのお米は、

- ①八千代市内の学校給食用に供給されています！
- ②J A八千代市経済センターで販売しています！
- ③J A全農へ！（国内産のお米として販売）

さまざまな形を通して、消費者に安心して地元産・国内産のお米を食べてもらうことができます。



地産地消！
地元産のお米♪

【お茶やったいよ！せんべいの発売】

八千代市産のミルクークイーンを使った新商品を2018年3月に発売開始しました。J A八千代市オリジナルの商品でアピールすると共に、加工品を作ることで米消費の一端に。

現在、味の種類も3種類（しょうゆ味、しお味、ラー油味）が増えてバラエティ豊かな茶菓子として老若男女問わず喜ばれております♪

八千代市産米使用の
オリジナル商品！



【新鮮農産物のPR販売】

八千代市内の生産者が所属する各種農産物の部会では、旬の時期に様々なPR販売を行っています。

例えば、道の駅やちよ、八千代緑が丘のイオンでニンジンやナシのPR販売を毎年開催。コンテスト形式や消費者参加型の場合もあります。ニンジンジュースの試飲やナシの品種食べ比べで旬の美味しさを知ってもらい、八千代市産の農産物を大々的にPRしています。

地元産を
積極的にPR！



【消費者に「食と農の大切さ」を伝える】

毎年、地元小学生の校外学習先に。また、中学生の職場体験の受け入れも行っています。J Aがどんな場所か、八千代市産の農産物がどのように出荷されているのかなどを知ってもらえる機会です。また、生産者に同行し一般市民へ出前授業を行い、農業の大切さをアピールしています。

※JAグループでは、「食」がもつ多様な役割の大切さを伝える「食育」をさらにパワーアップして、「食」を支える根本である農業に関する知識・体験も含んだ「食農教育」を実践しています。

食育＋農業
＝食農教育



【防災テントの寄贈】

J A八千代市は2018年9月、J A共済の地域貢献活動の一環として、市内小学校へ22張の防災テントを寄贈しました。(画像は、八千代市長に目録を手渡す藤代清文組合長(右側))小学校に寄贈したのは、災害時の一時避難場所としてしていただいている為。万が一の時、地域の皆さんに活用してもらいたいという想いからテントを選びました。また、運動会などの年間行事での使用も考えてのことです。なお後日、八千代市長から感謝状を頂きました。

地域に貢献!



【J Aの担い手支援】

農業従事者の減少や後継者不足が深刻化する中、J A八千代市では担い手婚活支援のための「農婚」を開催しています。普段、農作業に一生懸命に取り組む青年農家は、女性と出会う機会が少ない傾向であるため、J Aでは未来を担う生産者が良きパートナーと出会い、家庭を持つメリットを考え、家族みんなが幸せになれるよう支援するべく、婚活にも重点を置いています。

また、農機具などの購入支援事業や次世代を担う農家を様々な面からサポートしています。

農業生産の拡大



【やっちキャロットドレッシング】

八千代市産の春夏ニンジンを使用した期間限定のドレッシング(2013年から販売開始)。旬のニンジンをつぶり使用した商品は毎年大好評で、2018年には見た目も味もリニューアルされました。八千代市協力のもと、同市キャラクター「やっち」をプリントし、八千代市の特産品としての確立を目指した取り組みの一つでもあります。

市内農産物のPR、地産地消の呼び掛けの一端を担う商品です。

市内農産物のPR!



【直売所でのJ Aカード利用開始】

2017年2月から当J A農産物直売所「グリーンハウス」でJ Aカードの利用が可能になった為、販売増進と利便性が向上しました!

各種イベント内でJ Aカードのブースを作ったり、グリーンハウスでは毎月1回、クレジットカードの日を設け、当日J Aカードで1,000円以上のお買い物をされた方に素敵な粗品をプレゼントするなどして普及推進も行っています。

※J Aカードをグリーンハウスでご利用頂くと、後日、カードのご請求時に5%割引になります!(2020年3月末まで)J Aカードの詳細は当J A各支店窓口へお問合せください。

農業生産の拡大



【JAの総合事業で「農」をサポート】

JAでは様々な事業を行っております。例えば、信用事業ではキャンペーン定期貯金での特別金利や抽選で当たる収穫体験（※「大地の輪」ではそらまめ収穫体験）など。貸出金では、農業関連資金を最優先取組事項と捉え、無利子、低金利の制度資金を活用し、農業の効率化を推進しています。また、生活に欠かせない共済（保険）など多彩な事業でサポートしています！



多彩な事業で
サポート

☆この冊子の表紙に描かれているのが、総合事業のイメージ図です♪



【直売所で毎月イベント開催】

農産物直売所「グリーンハウス」では、ふれあい市場という名称で、生産者が新鮮農産物や加工品を持ち寄り、直売所で直接販売しています。

消費者との交流の機会となっており、会場は毎回にぎやかな様子です。また、農機センターや経済センターとのコラボイベントも随時開催しております！

消費者との交流！



※各種イベントの最新情報はJA八千代市ホームページからチェックできますよ！
スマホ版ページもありますのでどうぞご利用ください♪(QRコードはコチラ♪⇒)



組合員アンケートのお願い

～組合員の皆さまのご意見をお伺いする取り組み～

JA 八千代市では、様々な活動を行って積極的にJA自己改革に取り組んでおります。「組合員アンケート」を実施することで、組合員の皆さまのJAに対する意見や評価をお伺いし、より一層皆様のお役に立てる存在となるべく、自己改革を進めています。

JA 八千代市は、魅力ある地域農業振興と暮らしやすい地域作りに取り組み、ひいては地域の活性化に役立てるJAを目指していく為、アンケートを実施し、自己改革に反映させたいと考えております。本アンケートによって評価いただいた内容は、今後、政府が行う准組合員の事業利用規制のあり方の検討に向けても大変重要となります。

ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、当JA職員がお邪魔させていただきますので、本アンケートの趣旨をご理解いただき、何卒ご協力頂けます様宜しくお願い申し上げます。

また、すでにご協力頂きました組合員の皆様につきましては、お時間を頂き誠に有難う御座いました。頂いたご意見をもとにご期待に沿えるよう尽力して参りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



【アンケート実施期間】平成31年2月～令和元年11月末

JA八千代市の経営状況

財産の状況【貸借対照表】

単位：百万円

資産の部	平成30年度	平成29年度	負債・資本の部	平成30年度	平成29年度
現金	374	319	貯金	59,893	59,614
預金	31,501	31,137	引当金	183	191
貸出金	28,167	28,282	その他負債	1,156	1,142
有価証券	2,175	2,205	負債計	61,232	60,947
貸倒引当金	△142	△178			
その他資産	3,387	3,370	純資産	4,230	4,188
合計	65,462	65,135	合計	65,462	65,135

預金：農林中央金庫等へ預け入れて運用しています。
 有価証券：国債等の債券で運用しています。
 貸倒引当金：貸出金の貸し倒れに備えた金額です。
 その他資産：土地、建物などの固定資産、未収金等の雑資産、系統機関への出資金等です。
 その他負債：借入金、未払金、仮受金等の雑負債です。
 純資産：法定準備金、積立金、剰余金、皆様からの出資金等です。

経営成績【損益計算書】

単位：百万円

	平成30年度	平成29年度
事業総利益	930	950
うち信用事業利益	552	585
事業管理費	842	851
事業利益	89	99
経常利益	120	134
税引前当期利益	120	134
当期剰余金	84	106
当期末処分剰余金	226	243

事業総利益：各事業収益から各事業直接費を差引いた金額の合計です。
 事業管理費：人件費、業務費、諸税負担金、施設費等、労働や施設の管理に必要な費用です。
 事業利益：事業総利益から事業管理費を差引いた金額です。
 経常利益：事業利益に受取出資配当金等の事業外収益を加え、事業外費用を差引いた金額です。
 税引前当期利益：経常利益に特別利益を加え、特別損失を差引いた金額です。
 当期剰余金：すべての収益から費用・損失・法人税等を差引いた金額で一般企業の当期純利益に該当します。
 当期末処分剰余金：当期剰余金に前期繰越剰余金などを加えた金額です。

【主要勘定の推移】

単位：百万円

	30年度	29年度	28年度
貯金	59,893	59,614	58,316
貸出金	28,167	28,282	29,390
預金	31,501	31,137	27,520
有価証券	2,195	2,205	3,315

【収益等の推移】

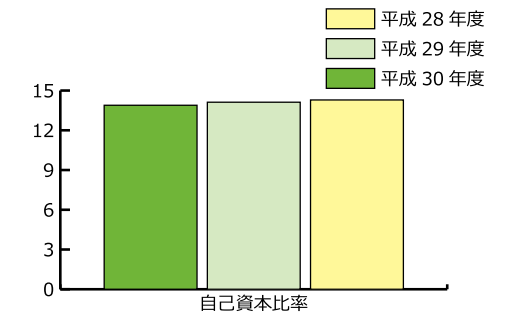
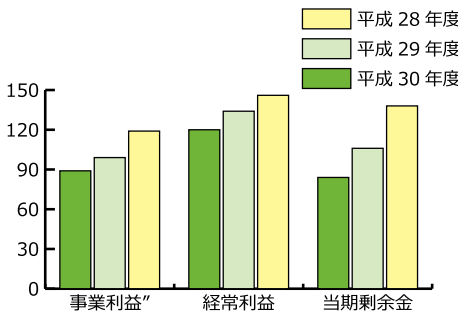
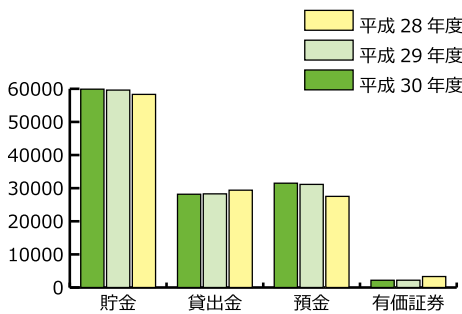
単位：百万円

	30年度	29年度	28年度
事業利益	89	99	119
経常利益	120	134	146
当期剰余金	84	106	104

【自己資本比率の推移】

	30年度	29年度	28年度
自己資本比率	13.89%	14.12%	14.29%

新 BIS 基準により算定された JA 八千代市の自己資本比率は **13.89%** です。国内基準の 4%、JA バンク自主基準の 8% を大きく上回っています。



不良債権の状況【金融再生法開示債権】

単位：百万円

債券区分	債権額	保全額				保全率
		担保	保証	引当	合計	
破産更生等債権	63	24	—	39	63	
危険債権	680	667	0	13	680	
要管理債権	—	—	—	—	—	
小計	743	691	0	52	743	100%
正常債権	27,458					
債権額合計	28,201					
債権額に占める開示債権の割合	2.63%	不健全な貸出金の割合は 2.63% と低水準です。厳格な自己査定を実施し、適正な償却・引当を行い、資産の健全性の確保に努めています。				

出資配当金

出資配当率は 29 年度・30 年度とも年 2% とさせていただきました。

経営理念

- JA八千代市は、農業振興を通じて、「食」と「農」と「緑」を守り、かけがえのない自然を次世代に引き継ぎます。
- JA八千代市は、地域のみなさまとともに生き、地域のみなさまとの共感の中で、心ふれあう地域づくりに取り組みます。
- JA八千代市は、高い倫理観と責任感を持ち、地域社会に貢献できる事業と組織づくりに取り組みます。

プロフィール



- 設立 昭和 40 年 5 月
- 本店所在地 八千代市大和田新田 640-1
- 出資金 7.5 億円
- 総資産 655 億円
- 単体自己資本比率 13.89%
- 組合員数 4,123 名 / 1,620 名 (正組合員) 2,503 名 (准組合員)
- 役員数 26 名 / 4 名 (常勤) 22 名 (非常勤)
- 職員数 / 78 名 (正職員) 8 名 (嘱託) 18 名 (パート)
- 支店 5 支店 (本店・睦・阿蘇・勝田台・大和田)

店舗案内・営業時間等について

店舗名	営業日・休日等			住所	電話番号 (局番 047)	ATM
	平日	土曜日	日曜・祝日			
本店 (※1)	8:30 ~ 17:00 (※2)	8:30 ~ 12:00	—	大和田新田 640-1	450-3711	1 台
睦支店	8:30 ~ 17:00 (※2)	—	—	島田台 738-13	450-2004	1 台
阿蘇支店	8:30 ~ 17:00 (※2)	—	—	米本 1955-2	488-2247	1 台
勝田台支店	8:30 ~ 17:00 (※2)	—	—	勝田台 2-7-7	482-9120	1 台
大和田支店	8:30 ~ 17:00 (※2)	—	—	大和田 777	482-7158	1 台
ハウジングギャラリー	9:30 ~ 18:00 水曜定休	9:30 ~ 18:00	9:30 ~ 18:00 祝日休業	ゆりのき台 4-9-3	481-3700	
経済センター	8:30 ~ 17:00	8:30 ~ 17:00	—	大和田新田 640-1	459-8126	
農機センター	8:30 ~ 17:00	8:30 ~ 12:00 第 2 土曜定休	—	大和田新田 647-1	459-2311	
農産物直売所 「グリーンハウス」 ゆりのき店	9:30 ~ 18:00 休日：毎月第一水曜日 年末年始			大和田新田 640-1	489-4147	
農産物直売所 「グリーンハウス」 勝田台店				勝田台 2-7-8	485-1365	

※1 本店内各部署 TEL
共済課 459-8120 融資課 459-8122 金融課 459-8124 本店 459-8123 指導販売課 459-8125

※2 本店・各支店の信用事業窓口営業時間は、平日 8:30 ~ 15:30 です。